別 記
様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

事業者行動（計画・変更計画・報告）書

2023年 7月27日

（宛先）
滋賀県知事 三日月 大造 様

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
大阪市中央区高麗橋4-1-1

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
ナス鋼帯株式会社
代表取締役社長 池上 雄二

滋賀県CO_2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例 ［~~第25条第3項~~・~~第25条第4項~~ ~~第27条第1項~~・~~第27条第2項において準用する同条例~~ 第26条第1項 ~~第27条第2項において準用する同条例第26条第1項~~］

~~第25条第4項~~］の規定に基づき、［~~事業者行動計画を 策定~~ ~~（変更）~~ 事業者行動報告書を作成］したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	ナス鋼帯株式会社 代表取締役社長 池上 雄二
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	大阪市中央区高麗橋4-1-1

1 事業者の概要

事業所の名称	ナス鋼帯株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市小砂町4					
主たる事業	日本標準産業分類細分類番号	2	2	3	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 冷間圧延業
事業の概要	ステンレス磨き帯鋼製造					
従業員の数	107 人	操業時間	24 時間／日			
該当する事業者の要件	☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3 台	熱源設備	3 台	照明設備	450 台
	コンプレッサ	5 台	空気調和設備	41 台	その他	

2 計画期間（および報告対象年度）

計画期間	開始年度	2021 年度	報告対象年度	2022 年度
	終了年度	2024 年度		

3 計画の（内容・実施状況）

計画の（内容・実施状況）	別添のとおり

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

標準様式第1号・標準様式第2号

（第1面）

1　CO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私達＜ナス鋼帯株式会社＞は、製造業として当工場の活動、製品に係る環境側面を
常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に環境関連法規、条例、協定及び
当工場が同意するその他の要求事項を順守します。また、環境に配慮した製品の
提供に努めて参ります。
1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、
　環境の保全と汚染の予防に取り組みます。
① ラインの集中的稼動と停止により、エネルギーの削減を実施する。
（電力・LNG…etc）継続
② 廃棄物の削減に取り組みます。（酸・アルカリ・溶剤・合紙…etc）
2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。
　TMS（統合マネジメントシステム…ISO14001／9001統合）
3. この方針を具現化し維持するとともに、全社員の参画による推進を図るため
　個別改善・自主管理活動等により全階層に渡る目標達成の方策を定め活動します。

2　取組の推進体制

別添（表－1）の通り

3　これまでに取り組んできたCO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組

1. 圧延機・電気加熱炉の運転時間調整により節電を実施した。
2. 事務所エアコンの設定温度順守で節電を実施した。
3. 工場内天井照明・事務所内の照明等、節電を実施した。
　① 昼間時の天井照明消灯、他不必要な電源を「切」とした。
　② 事務所休憩時の照明を「切」とした。⇒　継続
4. ライン長期休転時の機器停止と短時間休転時の台数制限運転による節電を実施した。
　・コンプレッサー（インバーター化）
　2022年55kw2台インバータ化
　・冷却水ポンプ・クーリングファン（インバーター化）
5. 工場内蛍光灯をLED灯に取替（省エネ）
　事務所166台　工場内216台　11,300kw／月削減
6. 操業基準の見直しで、副資材の使用量を削減した。
　（酸・アルカリ・溶剤・紙…etc）
7. アンモニア分解炉の台数削減による電力削減
　2基　⇒　1基運転による省エネ
8. 工場建屋天井照明Na灯をLED灯に取替（省エネ）　149灯　62,921kW/年削減
9. 工場外灯照明Na灯をLED灯に取替（省エネ）　14灯　11,154kW/年削減

4　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

（1）エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	特高受電トランス更新（高効率トランスに更新）消費電力削減	2022年	2022年5月更新完了
2	設備導入	工場外灯をLED化	2022年	2023年2月更新完了
3	設備導入	コンプレッサー更新（インバーター化）2台	2024年	2023年3月更新完了
4	設備導入	R4電気品更新によりトランス1台削減	2024年	計画に向け準備中
5				

（2）エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

（3）上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
平成23年度実績（B. M）：0. 700（t-CO2/ton） 2022年度目標　　：0. 665（t-CO2/ton）（B.M対比5%削減） 2022年度実績　　：5, 845（t-CO2/年）／9, 511（ton/年）生産量 ＝0. 615（t-CO2/ton）（B.M対比12%削減） ・電力CO2排出係数は、B.Mと同じく0. 311として算出した。	（2021年） ・目標を17%削減達成できた。 （2022年） ・目標を12%削減達成できた。

（4）温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（2021）年度	（2022）年度	（2023）年度	（2024）年度	（2025）年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,937	4,521	4,025			
温室効果ガス総排出量	t-CO_2	5,377	7,169	5,620			
エネルギー起源CO_2	t-CO_2	5,977	7,169	5,620			
非エネルギー起源CO_2	t-CO_2	0	0	0			
CH_4	t-CO_2						
N_2O	t-CO_2						
HFCs	t-CO_2						
PFCs	t-CO_2						
SF_6	t-CO_2						
NF_3	t-CO_2						
エネルギー等原単位の推移		0.61	0.583	0.615			

備考　「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5　再生可能エネルギー等の利用に関する取組

（1）再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	工場屋根への太陽光発電設備新設（150KW）	2024～2025年	2022年事前調査着手
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

（2）所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力･小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他（　　）	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

（3）再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

6　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO_2ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

（1）取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
高機能材（KK材）の拡販を継続して進めていく事により製品の長寿命化により、省資源化を図る。	既顧客や新規の顧客に対して高機能（KK材）の採用を図るべくPRや特徴の説明等のユーザーサービスを実施してきた。コロナ関連及び半導体不足等影響があり、受注が減少、令和4年度（2022年度）のKK材平均販売量は233t/月で目標未達成。
	CO_2削減貢献量
	t-CO2

（2）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
高機能材（KK材）拡販売の目標値 令和3年：250ton／月 令和4年：260ton／月 令和5年：266ton／月 令和6年：270ton／月 とする。

（3）上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO_2削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
現状も市況が良いとは言えない状況が続いているが、目標を達成し維持できていることは、取組みの結果であると考える。
CO_2削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO_2ネットゼロ社会づくりに資する取組

（1）調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2021)年	(2022)年	(　　)年度	(　　)年度	(　　)年度
温室効果ガス排出量の推移	t-CO_2	5,723	7,024	5,762			
エネルギー起源CO_2【調整後排出係数】	t-CO_2	5,723	7,024	5,762			
【調整後排出係数】	kg-CO_2/kWh	0.318	0.351	0.311			
特記事項							

（2）クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(　　)年度	(　　)年度	(　　)年度	(　　)年度	(　　)年度
グリーン証書の購入	t-CO_2						
クレジットの購入	t-CO_2						
特記事項							

（3）通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	
1	出張の抑制	web会議により、出張を減らす。	令和3年～	予定通り実施
2				
3				

（4）業務で使用する車輌の脱炭素化の取組

		計画開始年度前年度の保有台数	実績報告				
			(2021)年度	(2022)年度	(　　)年度	(　　)年度	(　　)年度
保有車輌の数	台	1	1	1			
上記のうち次世代自動車の数	台						
特記事項							

（5）その他のCO_2ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施スケジュール	
1	3R	廃棄物の分別及び発生の抑制を推進する。	令和3年度～令和6年度	計画通りに実施
2	その他	従業員に対する環境教育を推進し、低炭素社会づくりの意味を徹底する。	令和3年度～令和6年度	計画通りに実施
3				
4				
5				